

平成28年度管内概要

米代西部森林管理署



能代市「風の松原」



国民の森林・国有林

米代西部森林管理署庁舎
(能代市御指南町所在)



米代西部森林管理署管内図



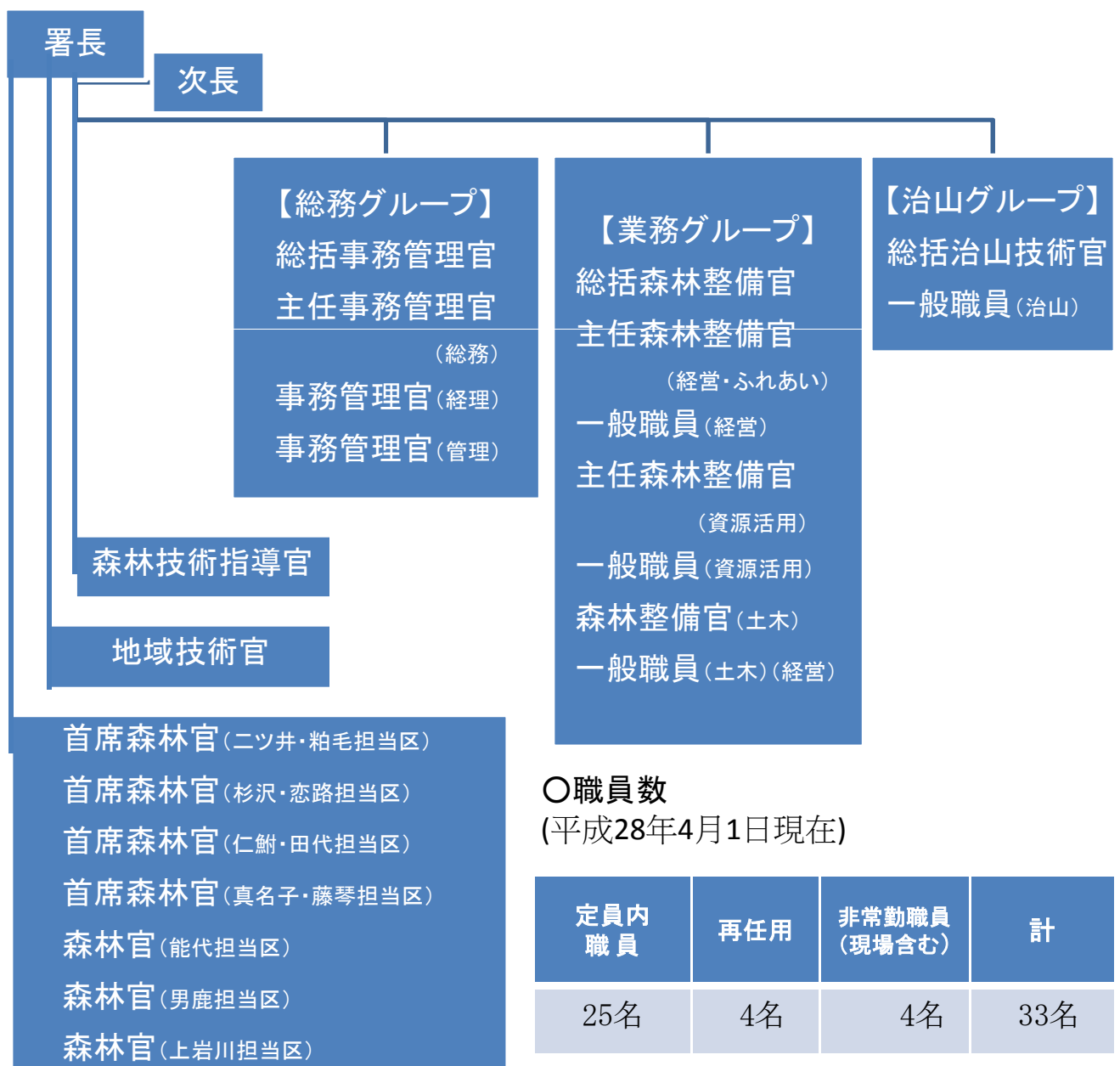
凡 例

- 国有林
- 官行造林
- 森林管理署・支署
- 森林事務所

米代西部森林管理署の沿革

明治23年	5月	響小林区署として設置
明治24年	6月	檜山小林区署と改称
明治25年	6月	能代小林区署と改称
大正13年	12月	能代営林署と改称
平成11年	3月	能代営林署、二ツ井営林署、五城目営林署を米代西部森林管理署に組織再編し、二ツ井事務所、五城目事務所を設置
平成13年	8月	二ツ井事務所、五城目事務所を廃止
平成16年	4月	男鹿森林事務所の管轄区域が秋田森林管理署管内から整序

組 織 図



1 管内国有林の現況と特色

管内市町村別森林面積現況

市町村名	市町村面積 (ha)	森林面積(ha)					森林比率 (%)
		国有林	国有林率 (%)	民有林	民有林率 (%)	森林面積計	
能代市	42,674	8,811	35%	16,185	65%	24,996	59%
男鹿市	24,080	1,897	16%	10,274	84%	12,171	51%
潟上市	9,796	272	9%	2,886	91%	3,158	32%
藤里町	28,198	18,233	72%	7,025	28%	25,258	90%
三種町	24,809	2,423	18%	10,981	82%	13,404	54%
八峰町	23,420	3,802	21%	14,733	79%	18,535	79%
五城目町	21,494	8,706	49%	9,185	51%	17,891	83%
八郎潟町	1,700		0%	306	100%	306	18%
井川町	4,795	1,039	40%	1,578	60%	2,617	55%
大潟村	17,005		0%	369	100%	369	2%
	197,971	45,183	38%	73,522	62%	118,705	60%

※米代川国有林の地域別の森林計画資料及び地域管理経営計画資料参考

※国有林面積は官行造林面積を含まない数値

管内国有林の現況

区分		面積		蓄積	
		(ha)	比率(%)	(千m3)	比率(%)
林地	人工林	22,482	50	5,616	64
	天然林	20,433	45	3,116	36
林地外		2,268	5	4	0
合計		45,183	100	8,736	100

※端数処理の関係から計が合わない箇所あり

管内の特色

- (1) 青森県境から白神山地世界遺産地域を含む能代・山本郡地域（八峰町、藤里町、三種町）と秋田市に隣接する南秋田郡地域（潟上市、五城目町、井川町）、また、飛地で男鹿市が含まれます。
- (2) 管内市町村森林面積の38%が国有林となっており、国有林率の多い市町村は藤里町が72%で一番多く、他の市町村の国有林率は50%以下となっています。
- (3) 能代市の米代川河口両岸の国有林約342haを主体とし、県有林、私有林を含めた海岸砂防林が広がっており、総称して「風の松原」と呼ばれています。また、国有林内には藩政年間に植林したクロマツ林が約70ha残っています。
- (4) 60年生以上（100年生含む）の高齢級秋田スギの面積は、人工林面積約22.5千haの内4,741haになります。
- (5) 能代市は藩政年間から天然秋田スギの集積地で現在も多くの製材工場や銘木業者が残っていますが、天然秋田スギの供給は平成24年度末で終了しています。各工場は高齢級秋田杉等の利用に変更しています。



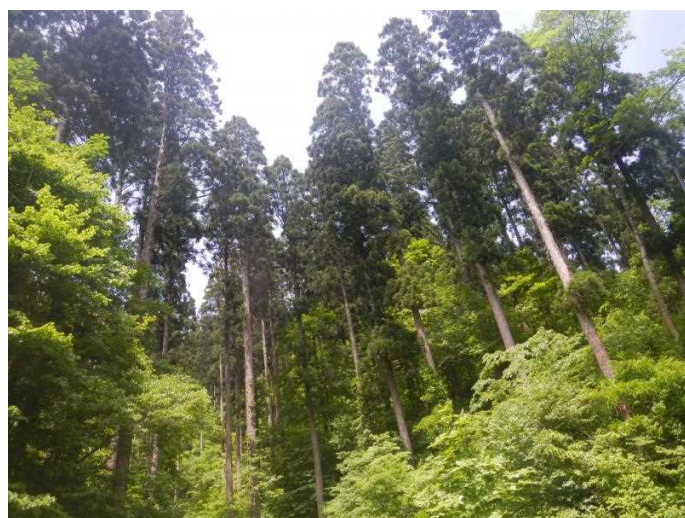
米代を遠望川河口の「風の松原」から
「白神山地」を遠望



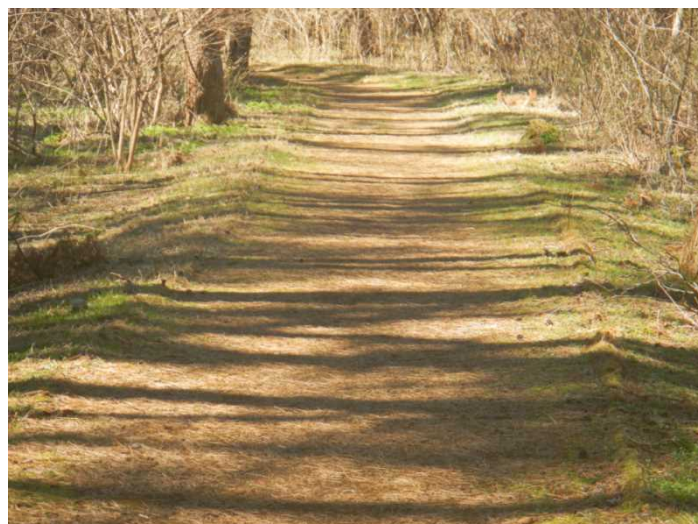
ブナ林を身近に体験できる
岳岱自然観察教育林」

2 管理経営の方針及び取り組み

- (1) 公益的機能（国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全等）を重視した森林整備の推進。
間伐の計画的な実施に加え、長伐期施業、複層林施業等の実施により、多様で健全な森林づくりを推進します。
- (2) 開かれた「国民の森」としての管理経営の推進。
地域の住民や関係機関と連携しながら、森林の整備・保全活動を行うことにより「国民の森」としての管理経営を推進します。
市民を飛砂や津波の被害から守っている能代市の「風の松原」を松くい虫被害から守るため、地域のボランティア団体や関係機関と連携して松くい虫防除対策を行っています。また、散策等を通じた健康づくりの場としての利用を進めています。



長伐期施業を実施している樹齢100年を超える
人工林（100林班ろ小班）



木材チップを敷き詰めた「健康づくりのみち」
（能代市風の松原）

○管内の保護林等

仁鮎水沢植物群落保護林（天然秋田スギ） 仁鮎部内



七座自然教育観察林（天然秋田スギ） 仁鮎部内



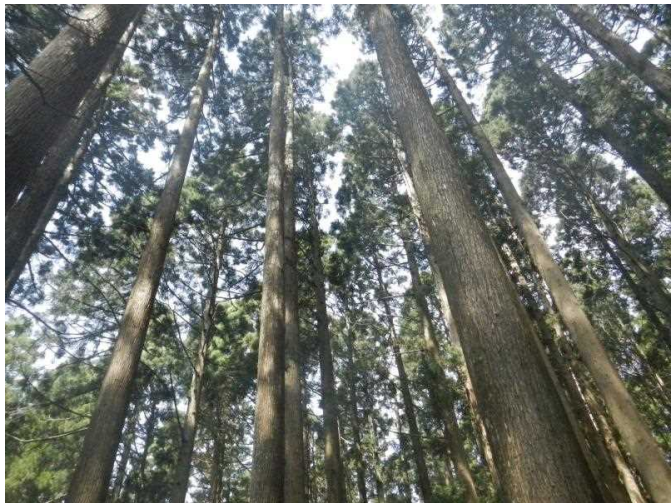
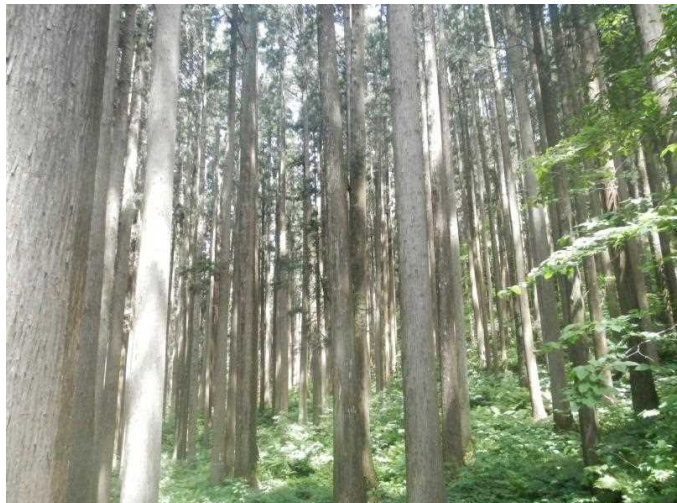
房住山自然観察教育林（天然秋田スギ） 上岩川部内



白神山地（二ツ森から遠望） 能代部内



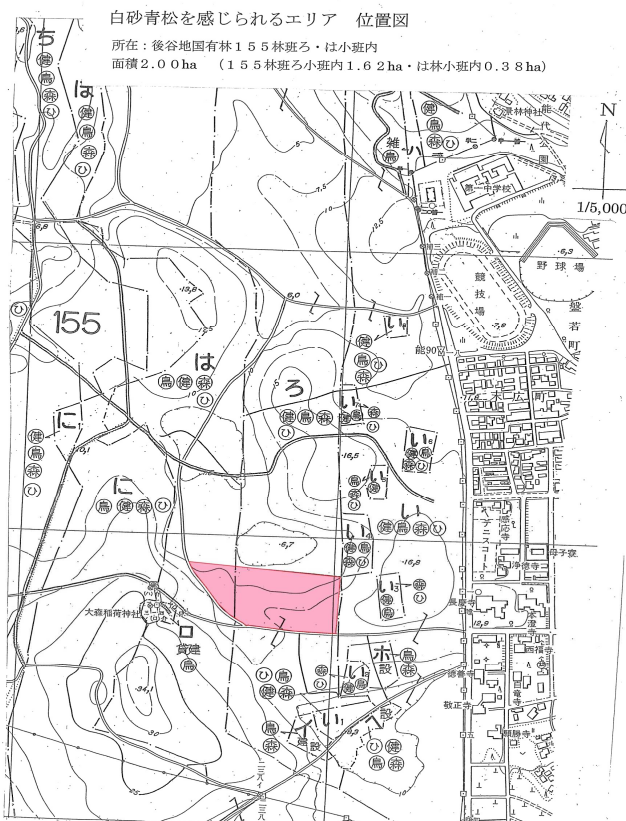
高齢級秋田スギ試験地 上岩川部内



○ふれあいの森「白砂青松を感じられるエリア」の協定

協定締結による「ふれあいの森」、「遊々の森」、「木の文化を支える森」、「社会貢献の森」、「多様な活動の森」など、国民参加の森林づくりを推進。

風の松原342haの内クロマツ林協同施業エリア30haを設置し、更にその内の2haを「風の松原の再生と共に歩む会」「能代市」「秋田県立大学木材高度加工研究所」と4者協定により、クロマツの純林と砂浜への整備を目指す。実施主体は「風の松原の再生と共に歩む会」となり、能代市と秋田県立大学は技術面のサポート。



平成26年9月4日（木）

「白砂青松を感じられるエリア」造成に伴う協定締結の調印

「風の松原の再生と共に歩む会」
「能代市」「秋田県立大学木材高度加工研究所」の4者協定



「風の松原の再生と共に歩む会」・ボランティアの方々による低木・草本類刈払い作業

平成26年11月27日（木）

○地域との関わり

風の松原ボランティア大会（平成27年4月19日（日））能代部内



○G S S活動

ニツ森登山道枯れ枝除去 能代部内



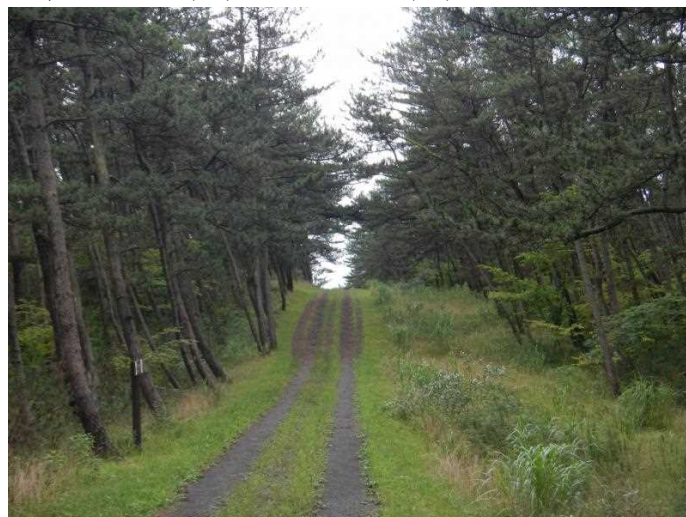
房柱山登山道草刈 上岩川部内



○森林病虫害防除

「風の松原」（後谷地国有林、大開浜国有林）（能代部内）

松くい虫被害拡大防止のため薬剤の地上散布 平成27年6月19日（金）～6月24日（水）



○職員OBと職員で風の松原歩道除草

平成27年7月16日



【事業の概要】（平成28年度予定）

○収穫量

単位：m³

国有林立木販売	国有林製品生産	官行造林
166,805	80,199	41,953

○製品生産 単位：m³

素材生産量
40,000

○造林事業

地 拵	植 付	下 刈	除 伐	歩道整備
29.15ha	30.26ha	28.74ha	252.57ha	27km

○治山事業

地区名	工事名称	工事場所	概要
米代川	黒石沢治山工事	山本郡藤里町	山腹工（水路工） 生コン 約51m ³
米代川	ニゴリ沢治山工事	山本郡藤里町	山腹工、護岸工 カゴ枠 約120m ² 詰石 約91m ³
米代川	大座崩沢地すべり 防止工事	山本郡藤里町	ボーリング暗渠工 塩ビ管 約825m
米代川	大開浜治山工事	能代市	静砂垣工、植栽工 約350m 約4,000本

○測定

単位：km

巡検	予備調査	境界巡視
22.49	45.99	441.00

○林道事業

地区名	工事名称	工事場所	概要
米代川流域	添畑沢林道災害復旧・改良工事	山本郡三種町	土留工 補強土壁工 約191m ²
米代川流域	長沢林道災害復旧・改良工事	能代市	土留工 樹脂製多段積擁壁 約114m ²
米代川流域	小比内林道東の又支線災害復旧工事	山本郡藤里町	土留工 生コンクリート 約25m ²
秋田臨海	真山林道災害復旧工事	男鹿市	土留工 コンクリート 約69m ²
米代川流域	素波里林道（林業専用道）新設工事	山本郡藤里町	林道新設 L=600m 幅員 3.5m 路盤材 約266m ³
米代川流域	行人沢林道（林業専用道）新設工事	山本郡藤里町	林道新設 L=1,455m 幅員 3.5m 路盤材 約587m ³
米代川流域	黒石林道改良工事	山本郡藤里町	土留工 木製校倉式擁壁 約65m ²
米代川流域	小入川林道外災害復旧工事	山本郡藤里町	土留工、生コンクリート 約177m ³ 、コンクリート ブロック 約71m ²